修学旅行では「トイレは禁煙です！」

以前に比べて修学旅行で飛行機を利用することが増えている。

これがまた気を遣う。僕の機に修学旅行生が入るときにはスチュワーデスに「トイレで煙草えお吸わないように繰り返しアナウンスしてほしい」と伝えることにしている。そうしないと煙探知機が作動して大騒ぎになるし、またそれをリセットするのも苦労するからだ。

そうするとこんどは、トイレの煙探知機のところを紙コップなどで塞ぐ輩が出てくる。スチュワーデスにはトイレチェックもこまめにやってもらうよう頼む。

煙探知機の作動よりも怖いのは、隠れて吸ったあとの吸い殻の始末だ。吸い殻をたとえばトイレのゴミ箱に捨てられでもしたら、機内は湿度がほぼゼロに近いから、あっという間に火がついてしまう。もちろんゴミ箱のなかには自動消火器はついている。しかしこれは機械だから、一〇〇パーセント作動するとは限らない。なにかのはずみで作動しない可能性も考えておかなければならない。

一般のお客さんでもトイレのなかで煙草を吸う人はいるが、修学旅行のときはかなり確率が高くなるので、こうした特段の注意が必要になってくるのだ。

それから生徒たちがスチュワーデスをからかうということもあるようだが、だいたい彼女らのほうが上手だから、からかわれたような顔をしてあわせているだけというケースが多い。

それよりも、スチュワーデスとの記念撮影をしたがる生徒が多いと、運航に支障を来すことがある。たとえば百人の修学旅行生の一人が記念撮影をはじめると、われもわれもとしまいにはほとんど全員が写真を撮ろうとする。そうなると乗り降りにものすごく時間がかかって、あとの機内清掃の時間が足りなくなり、次の便の出発時間にも影響してくる。

「降りるときに写真撮影されないようにしろよ」と言ったところで、降機の挨拶をしないわけには行かないから、そのときにつかまってしまい、ずるずると時間がかかってしまうのだ。

論畢業旅行，「廁所禁菸！！！」

和以前相比，現在搭飛機畢業旅行已屢見不鮮。

這才需要更加留意。每當畢業旅行的學生登上我的飛機時，我一定會告訴空姐，請他們再三廣播「請不要在廁所吸菸」，若不這樣做，不但會觸動偵煙探測器引起騷動，將設備重新設定也很麻煩。

如此一來，這次，就會出現沒水準的傢伙，用紙杯等物品塞住偵煙探測器。這時就要請空姐加強檢查廁所。

比偵煙探測器啟動更恐怖的是，收拾善後偷抽菸的菸蒂。假如有人將菸蒂丟入廁所垃圾桶內，由於機內的濕度近乎於零，在一瞬間就會釀成火災。當然垃圾桶內會設置自動滅火器。

但畢竟只是機械，雖然一般乘客也會在廁所抽菸，但是畢業旅行的機率會變得較高，因此有必要格外注意。

另外還有學生們會戲弄空姐，但大部分的空姐們也很老練了，很多空姐大多是配合演出而擺出像被戲弄的表情。

比起以上事情，只要想跟空姐合照的人一多，就會影響航行。例如一團百人的畢業旅行學生中有一人說想拍紀念照的話，其他人會開始喊著「我也要」「我也要」，最後幾乎全員都想要合影留念。要是變成這樣的話，上下飛機會非常耗時，也會壓縮到整理機艙的時間，進而跟著影響到下個航班的出發時間。

就算說「下飛機時不要讓他們有合照機會」也無濟於事，乘客下機時不可能不和乘客道別，在那個時機被抓個正著，就會拖拖拉拉的浪費一堆時間。